

タイトル	録音時間	録音場所	録音年月	値段	説明
秘訣講座	1日目（58分25秒） 2日目（25分34秒） 3日目（36分34秒）	大阪	2017年5月	1200円	野田の行った最後の秘訣講座（4日間）の記録です。初日の講義では合気道でいう「理合（りあい）」という言葉を紹介し、アドラー心理学の「理合」、中でも野田の「理合」をていねいにお話しします。2日目は「理合」の内容について詳しい説明を行っています。3日目は、ドライカースのまとめた相談的人間関係（相互尊敬・相互信頼・協力・目標の一致）を掘り下げ、専門家向けに詳細に説いています。野田がアドラー心理学のあたたかさとしさをどのように捉えていたかがよく分かる講義だと思います。
よい人間関係とは 2014函館	全体（69分41秒）	函館	2014年9月	700円	アドラー心理学は、相手と「協力的」な関係を築くことを目的にしています。協力的というのは、「いっしょに問題を解決する」という意味です。もっとわかりやすく言うと、「自分もしあわせ、相手もしあわせ」になる道をさぐる、ということです。当日の板書は次のようでした。 しん 基本的信頼感 「世界はいいところだ、人々は仲間だ」と思えるように せつ 限界設定 「していけないことがある」とわかるように ゆう 勇気づけ 賞や罰でなく、参加することを喜べるように せん 選択肢を与える 「イエスカノーカ」ではなく複数から選べるように たい 体験から学ぶ たくさん体験して結束から学べるように りよく 協力 争うのでなくて、力を合わせて暮らせるように じ 自尊心「私は能力がある」と感じられるように ぞく 所属 いつもクラスの中に居場所があるように
よい人間関係 2014倉敷	全体（66分37秒）	倉敷	2014年8月	700円	人と競争して勝ち負けを争うというようなことはやめ、あるいは支配したり服従したりする関係を抜け出して、対等の人間と人間として勇気づけ合いながらつづきことです。しあわせな人に囲まれて、人間ははじめてしあわせになります。これがアドラー心理学の基本原則です。当日の板書は次のようでした。 か 変えられるものは か 感情でなく か 関係ですか 価値判断を変えるため か 仮想目標をチェックして か 競合的から協力的へ か 共同の課題を作りましょう
よい人間関係 2014大阪	講演（77分01秒） 前半（76分31秒）	大阪	2014年1月	1500円	人間が信じ合い愛し合って暮らすためにはどうすればいいかについて、根本的・理論的・原理的に考えてみます。「変えられるものは、感情でなく、関係です。価値判断を変えるため、仮想目標をチェックして、競合的から協力的へ、共同の課題を作りましょう」という小見出しでお話しています。
美しく老いる 2013年版	前半（40分38秒） 後半（50分55秒）	佐賀	2013年11月	900円	佐賀市での講演です。若い頃に同じ題名の文を書いたことがあるのですが、65才になってあらためて考えなおしてみたものです。世の中に「しあわせになりたい」と思っている老人ほど醜いものはないので、ぜひそれはやめて、「人をしあわせにしたい」と思っている老人になりたいものだと思っています。そのあたりのことを、老人をめぐる現代社会の諸問題と関係づけながらお話ししています。
しあわせに生きる	全体（62分33秒）	大分	2013年11月	600円	大分市で行った講演です。相対的マイナスから相対的プラスへの目標追求というアドラー心理学の基本公式を使いながら、競合的な目標追求はまわりの人を不幸にすることで自分をも不幸にし、協力的な目標追求はまわりの人を幸福にすることで自分をも幸福にするというお話をしています。アドラー心理学の理論としっかり結びつけて幸福論を考えると、すっきりとわかりやすい人生の指針が得られます。
ライフスタイル分析	全体（51分47秒）	徳島	2012年10月	600円	ライフスタイルは、遺伝や環境で100%決まるわけではありません。子どもは、こういう場合にはこうすれば良いとか、こうすれば良くないとかいうことを、経験の中で積み重ねて仕分けして、学びとっていきます。つまり、子ども自身がライフスタイルを決定していくのです。このようなプロセスを知ることによって、人は自らのライフスタイルを乗り越えていくことができます。めずらしく一般向けのライフスタイル分析に関するお話で、ライフスタイルに大きな影響を与える家庭の大切さについて説いています。
練成講座 2012神戸	前半（47分35秒） 後半（27分28秒）	神戸	2012年9月	700円	エピソード分析を開発して論文を書いた直後の講座です。エピソード分析の構造をわかりやすく説明しています。また後半は、アドラー心理学のカウンセリングを、人を動かす手段としてではなく、人を本当に援助する手段として広めていってもらうにはどういう点に気をつければよいかを語っています。
ライフスタイル特殊講義	全体（39分27秒）	新潟市	2012年8月	500円	新潟市でのライフスタイル特殊講義と演習の際の講話です。エピソード→対処行動→ライフタスク→仮想的目標→私的感覚という、新しい手順でのエピソード分析法について説明しています。

相談にのる	前半（57分37秒） 後半（53分42秒）	大阪	2012年7月	1100円	相談にのるコツを細かく詳しくお話ししています。相談が契約であること、よい人間関係がないといけないうこと、行動の目標を明らかにする必要があること、競合的でなくて協力的な目標を選ぶこと、それが実現できるような現実的な方法を選ぶこと、などです。
協力と横の関係	前半（47分03秒） 後半（41分37秒）	大阪	2012年5月	900円	この頃まで一般の方向けのアドラー心理学教育は、よい関係を保つための行動の工夫に重点を置くことが多く、行動の目標が協力的か競合的かを点検することはあまりありませんでした。この講演は「エピソード分析」が開発された頃のもので、「競合的」とは「相手を裁くこと」、「協力的」とは「自分自身も相手も裁かず、力を合わせて問題を解決しようとする」と説明しています。さらに、協力的であればどんな価値観でもよいわけではなく、自分だけの利益になる価値観（自己執着）と、みんなの利益になる価値観（共同体感覚）とがあります。他人を変えるのを止め、共同体の利益となるようによりよい方法を問いかけていくのがアドラー心理学であるとお話ししています。
カウンセリング講座 2012大阪	前半（23分17秒） 後半（13分35秒）	大阪	2012年5月	500円	2ヶ月に1度おこなわれるカウンセリング講座の始まりにした話と終わりにした話です。前半ではアドラー心理学のカウンセリングの科学的な構造について、後半では芸術的な特質についてお話ししています。
私的感覚 2012大阪	前半（37分14秒） 後半（25分58秒） 添付資料 fig_2.pdf	大阪	2012年4月	600円	私的感覚についての新しい話です。エピソードの中の対処行動をとりだし、そこから、ライフタスク・仮想的目標を考え、私的感覚をとりだします。後半は、早期回想を使って同じことをして、ライフスタイル診断をする方法を説明します。
話を聴く	前半（49分13秒） 後半（40分04秒）	大阪	2012年3月	900円	対話を、1）雑談、2）相談、3）葛藤解決の3つのレベルに分けて、2の相談について詳しくお話ししています。エピソードを聴き、感情を聴き、感情の理由を聴き、どうなってほしかったかを聴き、そこから目標と対処行動を導き出して、ある場合には同じ目標に向かって違う対処行動を探し、ある場合には目標そのものを考えなおすのですが、ひとつひとつの段階を丁寧に説明しています。
私的感覚 2011大阪	前半（46分28秒） 後半（27分54秒）	大阪	2011年12月	800円	劣等感→対処行動→私的感覚という行動の分析法を育児に応用する考え方についてお話ししています。前半は具体的な説明、後半はすこし歴史的なことを振り返りながら、なぜこの考え方がいまでも語られることがなかったかを説明しています。
理論と臨床	全体（33分22秒）	大阪	2011年9月	500円	アドラー心理学の心理治療を、トピック・ロジック・レトリックの3つの手順に分けて、おのおのについてわかりやすく説明しています。トピックとは話題にすることであり、具体的にはエピソードです。ロジックとはトピックを分析する理論的な手順であり、基本前提、なかでも目的論を使って考えます。レトリックとはロジックをクライアントに伝える方法であり、カウンセラーの人間性がいちばん出る部分です。
美しく老いる 2011年版	前半（46分10秒） 後半（40分44秒）	大阪	2011年9月	900円	老人との暮らし方と、老人本人の暮らし方と、両方をお話ししています。老人をとりまく社会的状況は難しくなっていますが、家族が助けあって生きるということを基本に据えて、アドラー心理学にもとづいて相互尊敬・相互信頼によるよい協力関係を築く方法についてお話ししています。
自己理解	1日目（37分16秒） 2日目（39分17秒）	三田	2011年7月	800円	兵庫県三田市での講話です。「自己理解」ということをめぐって、さまざまな方向から詳しくお話ししています。すこし難しいかもしれない部分もありますが、自己理解と自己成長のために必要なヒントがたくさん含まれています。
勇気づけ 2011大阪	前半（53分36秒） 後半（52分39秒）	大阪	2011年5月	1000円	大阪での定期講演会ですが、参加者がきわめて少なかったのも、とってもいい話をしていて、参加者が少ないと、とっておきの話をするのです。公開しないで「幻の講演会」にしようかなと思っていたのですが、もったいないので公開します。「勇気づけ特殊講義」を下敷きにしてお話ししています。
トラウマなんかない	前半（49分40秒）	大阪	2011年4月	600円	東日本大震災の被災者に「心の傷」ができるささやかにはじめています。しかし、アドラー心理学の立場から見ると、PTSDは予防できるし、心配する必要はないことについてお話ししています。「エピソード」がどのようにしてその人の「物語」の中に組み込まれるかという視点から考えます。
家族と国家	前半（48分40秒） 後半（36分11秒）	大阪	2011年4月	900円	近代主義が個人を単位として社会を考えるのに対して、家族を単位に考える方が、よりよい社会を築けるのではないかという話です。持続可能な文明を考えるためにアドラー心理学がどう貢献ができるかを考えています。

医療と心理療法	全体（50分16秒）	大阪	2010年12月	600円	医療現場での医師と心理士の分業について、アドラー心理学の立場からお話します。どういう患者が心理療法に適しているか、どういう患者は心理療法に送ってはいけないか、というようなお話です。
尊敬：お年寄りと暮らす	前半（54分41秒） 後半（39分50秒）	大阪	2010年9月	900円	お年寄りと一緒に暮らす上で、アドラー心理学がどのように使えるかについてお話をしています。子どもに対するときと基本的な原理は同じなのですが、「育てなくてよい」こと、「教わることがある」こと、「勇気づけよりも所属に注意する」ことなど、いくらか気をつけておくべき相違点があります。ICASSIでイヴォンヌ・シューラー先生から学んだ「ピンポン効果」の理論も使い、老いや死を明るく話題にしています。
カウンセラー養成講座を終えて	全体（31分11秒）	大阪	2010年8月	500円	2010年のカウンセラー養成講座の感想です。カウンセラー養成講座は、単にカウンセリング技術の伝承を目的とする場ではなくて、アドラー心理学の理論と思想の全体像を伝える場です。卒業生が地域の自助グループのお手伝いをするなどを通じて、日本のアドラー心理学の質の向上と量の増大に貢献することを願っています。
ICASSI_2010	全体（45分46秒）	大阪	2010年8月	600円	ルーマニアでおこなわれたICASSI_2010の報告をします。ICASSIの歴史や意義や現状の話のお話をします。
掃除について	全体（36分15秒）	大阪	2010年7月	500円	文字通り、掃除の話です。スピリチュアル風に、掃除の体（本質）、相（かたち）、用（はたらき）に分けてお話します。
ことばの使い方	全体（45分07秒）	大阪	2010年6月	500円	日本語は、あいまいなことば使いを好むように思います。しかし、それでは、たとえば育児の目標を明確に語ることができず、そうなりといちいちの場合にどう対応すればいいかわからなくなります。いくつかの例をあげながら、あいまいなことば使いの問題点について考えてみます。
未来の社会	前半（55分39秒） 後半（54分44秒）	大阪	2010年5月	1100円	アドラー心理学は、単に子どもを育てたり、夫婦関係を調整したり、神経症を治療するために存在するのではなくて、明るい未来の社会を作るために存在します。そのためには、現代の社会と未来の社会に対してアドラー心理学はなにをなすべきかを考えなければなりません。政治的な話ですが、わかりやすく面白くお話しています。
得意科目・不得意科目と職業適性	全体（35分48秒）	大阪	2010年4月	500円	学校での得意科目・不得意科目と、将来の職業適性との関係を考えてみたい。得意科目・不得意科目はライフスタイルを反映しています。それを知っていると、どういう職業に向いているかの話し合いの材料になります。
アドラー心理学と政治	全体（55分20秒）	大阪	2010年4月	600円	日本人は「政治アレルギー」に陥っていて、政治の話が嫌いです。その結果、目先の利益だけで政治について考えています。しかし、それは「自己執着」であって、「共同体感覚」ではありません。世界のアドレリアンは政治に強い関心をもっています。もうすこし政治に関心をもっていただきたいと思って、お話をしました。
ヨーロッパのアドラー心理学 2010年	全体（51分41秒）	大阪	2010年3月	600円	アメリカとドイツのアドラー心理学の違いを説明した後、スイスやヨーロッパのアドラー心理学がそれら両者の影響を受けながら独特の発展をしていることについてお話します。さらに、ヨーロッパのアドラー心理学と日本のアドラー心理学との関係について考えます。
相談の4段階	全体（50分48秒）	大阪	2010年1月	600円	アドラー心理学におけるカウンセリングの4つの段階について、援助職や親や教師などの非専門家向けに話しています。カウンセラー養成講座以外の場所ではあまりしていなかったお話です。1）関係樹立期（情報収集期） 2）解釈期 3）正対期 4）再教育期 というカウンセリングの枠組みを、たいへんコンパクトにわかりやすく説明しています。エピソード分析が開発される以前の講話ですが、家庭や学校や職場で人の相談に乗るときの大切な「秘訣」がたくさん語られています。
ヨランタと考えたこと	前半（48分00秒） 後半（33分46秒）	大阪	2009年12月	800円	ヨランタが日本にいたときよく話し合ったナショナル・アイデンティティの話です。国民（ネーション）と住民（ピープル）と民族（レイス）を分けて、ネーションが意識的に作る国民国家（ネーション・ステイト）と、それへの帰属意識としてのナショナル・アイデンティティを、ヨランタの故国のラトヴィアと日本を比較しながらお話しています。
アドラー心理学で使う英単語	全体（44分28秒） 添付資料 english.pdf	大阪	2009年9月	500円	アドラー心理学で使う英語の学術用語のうちで、最低限覚えておいた方がいいものについて解説しています。これだけ覚えておれば、後は普通の英会話の知識で、じゅうぶんやっていけると思います。

下手なカウンセリング	全体（56分34秒） 添付資料 090709.pdf	大阪	2009年7月	600円	マイクロレベルでのカウンセリングの失敗について話をしています。戦略レベル、すなわち全体的なデザインがうまくいっていて、戦術レベル、すなわちメタ・メッセージの組み立てもうまくいっていても、一問一答のメッセージのレベルでの間違いがカウンセリングを挫折させます。それを、1）クライアントの話を無視する、2）仮説を押しつける、3）ネガティブな面に注目する、4）解釈や助言を押しつける、5）変化を強要する、の5つに分けて、実例をあげながら考えます。
ナラティブ・ベイスド・メディシン	講義（66分05秒） 質疑（14分58秒） 添付資料 nbm.pdf	大阪	2009年6月	800円	大阪大学医学部保健学科での講義です。ナラティブ・ベイスド・メディシンという、医療の新しい考え方について述べています。看護の現場を例にあげて、わかりやすく講義をしています。
儀式と分業	全体（48分10秒）	大阪	2009年5月	600円	大阪岬町でおこなわれた「かささぎ座」で、不活発な会議をどうすれば活発にできるかという話題が出ました。それにちなんで、組織内分業の必要性や、儀式性や、平等と同等の違いについてお話ししています。
歴史に組み込まれる	全体（38分53秒）	大阪	2009年3月	500円	夫婦を人間社会の最小単位として考えることにすると、必然的に、家系の中、国民国家の中、人類の中に時間的・歴史的に組み込まれた存在として夫婦を考えることになります。自分が歴史に組み込まれていることを意識するのが共同体感覚であるということになりますが、アドラーが考えた空間的な共同体感覚とは違って、時間的な共同体感覚を考えることになります。現代の日本人は歴史から疎外されています。歴史的な疎外を克服するヒントとして、夫婦から考えはじめることを提唱しています。すこしややこしい話です。
夫婦という生き方	前半（51分08秒） 後半（53分40秒）	大阪	2009年3月	1000円	夫婦が置かれている現代の困難な状況と、ただの技術としてではなくて、真によい夫婦関係を作るための工夫をお話ししています。
私的論理	全体（41分21秒）	大阪	2008年9月	500円	ライフスタイルを私的意味づけと私的論理に分けて、現在のエピソードから私的論理を導き出す方法についてお話ししています。自助グループのレベルでアドラー心理学らしい相談ができるようになるための必須科目だと思っています。
美しく老いる	前半（56分42秒） 後半（43分12秒）	大阪	2008年9月	1000円	3つのライフタスクと共同体感覚をキーワードにして、美しく老いていくことについて考えます。アドラー心理学は、どういう問題についても同じ原理で考えることができるので、年をとることについて特別な考え方があるわけではありません。しかし、年齢に応じた特殊なライフタスクは存在します。それらを貢献的に解決しながら生きていくことが、美しく老いる秘訣だと考えています。
課題の分離	前半（51分51秒） 後半（43分11秒）	熊本	2008年9月	1000円	「課題の分離」という考え方が誤用されているような気がします。責任とか貢献とか共同体感覚と関係づけながら、課題の分離の本当の意味を考えてみました。また、親がなぜ課題の分離を乗り越えて子どもの課題に介入してしまうかについて、ライフスタイルの問題と関係させながら考えました。そうしたうえで、共同の課題を話し合いや勇気づけと関係づけて語りなおしました。むづかしい話ですが、重要な内容だと思います。
英語でアドラー心理学を	全体（56分13秒）	大阪	2008年8月	600円	ICASSIの体験を通じて、英語でアドラー心理学を学ぶことの必要性をお話しています。外国のアドレリアンからは、アドラー心理学の基礎的な考え方なら翻訳を通してでも学ぶことができますが、具体的な応用については英語でワークショップに参加しないと学ぶことができません。ぜひ英語をブラッシュアップして、ICASSIなどの外国のワークショップに参加してみませんか。
国際学会とICASSI	前半（50分13秒） 後半（52分59秒）	大阪	2008年8月	1000円	2008年のリトアニアにおける国際アドラー心理学会と、ハンガリーにおけるICASSIについてお話ししています。参加の報告というよりは、国際学会がかかえる問題点や、ICASSIの意義などについてのお話です。これからの日本のアドラー心理学のあり方にもかわりますし、みなさんのアドラー心理学の学び方にもかわりますので、ぜひ聞いてみてください。アドラー心理学の世界的な状況を理解されるのに役に立つと思います。
歴史認識	前半（50分43秒） 後半（42分56秒）	大阪	2008年5月	900円	チベット問題から派生して、第二次大戦中のさまざまな事件について語っています。一次資料から科学的に見ると事実無根と思われること（たとえば南京事件）について、実際にそれがあったかのように言いつける外国政府のキャンペーンがあって、それを日本政府がどういうわけか受け入れるものだから、子どもたちが日本の歴史に誇りを持てなくなっていることを心配しています。

よい夫婦関係	前半（45分39秒） 後半（50分0秒）	大阪	2008年3月	1000円	夫婦関係について4つの話をしています。第1に、現代の夫婦がおかれた状況について。第2に、愛は学ばなければならないものであること。第3に、愛を作りだすための考え方とやり方、第4に、セックスについて。アドラー心理学の夫婦関係調整理論にもとづく標準的な話です。
物語分析（2）	全体（39分58秒） 添付資料 zurig.pdf story_1.pdf	大阪	2008年3月	500円	物語の構造を3つのレベルで説明しています。すなわち、語と語の関係としての象徴、文と文の関係としての私的意味づけ、文章と文章の関係としての私的論理、です。
物語分析	前半（53分09秒） 後半（51分26秒） 添付資料 zurig.pdf	大阪	2008年1月	1000円	前半では構築主義にもとづく言葉と心の関係、後半では神話・伝説・昔話などの分析について話しています。
臨床心理学史	全体（42分13秒）	新潟	2007年11月	500円	2007年夏にICASSIに参加し、ヨーロッパのアドラー心理学ムーブメントに刺激を受けて帰ってきました。当時としてはとても斬新な概念を語っています。クライアントの語る物語は、自身で問題が起こるように語っているため、根本的な見落としがあります。ですから治療者は「あなたのその語り方では、問題は同じように続くだけでしょう」という意味のことを伝えます。そうして今とは違う考え方ができるような新しい語り方を獲得できるように、クライアントを勇気づけます。臨床心理学の歴史と絡めながら、熱くお話ししています。
ヨーロッパのアドラー心理学 2007年	富山（51分20秒） 金沢（42分29秒）	富山/福井	2007年10月	1000円	最近のヨーロッパのアドラー心理学の動きについて話しています。すこし専門的な話ですが、今後の日本のアドラー心理学のあり方にも大きな影響があることかもしれません。
チューリッヒ・シート	全体（30分58秒） 添付資料 zurig.pdf	高松	2007年10月	500円	香川県高松市でのカウンセリング講習会の際の講演です。チューリッヒ・シートというものを使ってカウンセリングをする方法について説明しています。
練成講座 2007川崎	1日目（42分1秒） 2日目（47分37秒） 3日目（45分50秒） 添付資料 zurig.pdf	川崎	2007年9月	1300円	神奈川県川崎市でおこなわれたアドラー心理学練成講座での講義です。イヴォンヌ・シュラー直伝の「チューリッヒ・シート」を、背後にある思想や歴史を踏まえながら詳細に解説していきます。1日目はカウンセリングについて、2日目はライフスタイルについて、3日目は共同体感覚についてのお話です。アドレリアン・カウンセリングの真髄は、1）ライフスタイル診断ができること 2）共同体感覚の育成に向けて動くこと と言い切っています。特に3日目の共同体感覚の育成についての話は、現代の諸問題を解決するヒントに溢れており、たいへん聞きごたえがあります。
カウンセリングと言葉	前半（31分01秒） 後半（28分16秒）	高知	2007年9月	600円	カウンセリングの中での「言葉」の働きについて話しています。前半は「ジャーナル」の話題を中心に、言葉と心の関係について、後半は「パーソナル・ストレンクス」の話から入って、「観察自我」や「ライフスタイル」や「平等」などの話をします。
カウンセリングの方法	1回目（52分22秒） 2回目（53分12秒） 3回目（45分18秒） 4回目（53分48秒） 添付資料 zurig.pdf	大阪	2007年8月	2000円	2007年のカウンセラー養成講座での講義です。「チューリッヒ・シート」と呼ばれる用紙を用いて話を聞く方法と、ライフスタイル分析の方法について、詳しく述べています。1回目は、現在の問題の聴きとりと、代替案によるカウンセリングについて。2回目は、平等と共同体感覚および劣等感と仮想的目標追求についてと、子ども時代の家族関係について。3回目は、ふたたび共同体感覚と仮想的目標追求についてと、早期回想診断への導入。4回目は、早期回想診断の続きと、カウンセリングの設定についてのお話です。
カウンセリング講習会 2007秋田	全体（46分51秒）	秋田	2007年6月	600円	秋田県横手市でのカウンセリング講習会に先立つ講演です。はじめはやや雑談気味にあれこれの話をしていますが、後半は「自己執着」というアドラーの言葉を手がかりに、「苦楽をともにする」ものとしての共同体感覚の話に及びます。個人主義と物質主義を超えて、人間の心を大切に、みんなが仲間として問題に取り組む社会、結びあって話しあって助けあって生きていく社会、そう言う社会を実現するために「私にできることはなんだろう」という意味で、アドラー心理学をとらえています。
カウンセリング講習会 2007三重	講演全体（48分32秒）	三重	2007年6月	600円	三重県四日市市でのカウンセリング講習会に先立つ講演です。アドラー心理学のカウンセリングの特徴をわかりやすく説明しています。クライアントが訴える問題そのものを解決しようとするのではなく、その背後にある「機能不全家族」に着目して、それを正常に機能する家族に変えていくことが、カウンセリングの目標であるということを語ります。

アドラー心理学と構造主義	全体（50分29秒）	和歌山	2007年3月	600円	アドラー心理学のカウンセリングを構造主義的にとらえなおし、ひとつのエピソードから表層構造を取り出す手順、複数のエピソードから深層構造を取り出す手順などを述べています。これまで言葉で語ることが難しかった部分が明快に語られています。一部、板書するときにマイクが振動して雑音の入っているところがありますが、ご了承ください。
カウンセリング講習会 2007福岡	説明（30分59秒） 質疑（56分32秒）	福岡	2007年1月	900円	ポストモダン心理学の立場からアドラー心理学を再解釈して語っています。最新の話です。カウンセリングを《脱構築》のための《語りなおし》としてとらえ、《願い》をキーワードに新しい形のグループ療法のあり方を説明しています。
カウンセリング講習会 2006四国	高松（53分39秒） 徳島（35分57秒）	高松/徳島	2006年12月	900円	高松での講演では、アドラー心理学の新しい視野についてお話ししています。徳島での講演では、論理性・協力・言葉をキーワードにして、新しいグループ療法の原理を説明しています。さらに、「語る」と「聴く」をキーワードにしてグループ療法の技法上の特徴を説明します。
死にゆく人々を勇気づける	前半（47分05秒） 後半（50分20秒）	大阪	2006年11月	1000円	死が耐え難く恐ろしいものになったのは、カントからハイデガーに至るデカルト・パラダイムと関係があります。社会の伝統も歴史も神も否定する分子のような個人にとっては、死は不条理な直視しがたいものになります。死の臨床にたずさわる者は、そのような悪しき個人主義を克服し、死を共同体の中での出来事として捉え直す必要があると思います。スピリチュアルな共同体感覚の立場から、死の臨床を考えてみます。
カウンセリング講習 2006北陸	富山市（36分16秒） 金沢市（41分44秒） 福井市（52分37秒）	北陸	2006年10月	1300円	グループ療法や4つのカウンセリング・デザインなど、最新の話をしています。3日とも、すこしずつ違う側面から話をしていて、面白く聞いているだけだと思います。
カウンセリング講習 2006新潟	加茂市（32分52秒） 新潟市（23分23秒）	新潟	2006年9月	600円	グループ療法や4つのカウンセリング・デザインなど、最新の話をしています。これまでのカウンセリング講習のときの話とは、切り口がかなり変わっていて、魔法医の方法との関係や、4つのデザインに至るまでの「問題の共有」の話などがされていて、耳新しいです。
グループ・カウンセリング	全体（56分30秒）	浜松	2006年9月	600円	浜松におけるアドラー心理学カウンセリング講習会の最初の部分の講義です。「見取り稽古」の話から始まって、野田がアドラー心理学に出会ったきっかけや、留学のことや、さまざまの話題が盛りられています。もちろん、グループ・カウンセリングの理論と方法の話が中心です。
老人を勇気づける	前半（50分13秒） 後半（58分45秒）	大阪	2006年9月	1100円	発達心理学的に老人の位置をとらえてから、老人とどうして暮らすか、どうして上手に老人になるかについて、アドラー心理学の工夫を述べています。
アドラー心理学の進歩	全体（45分16秒）	大阪	2006年7月	600円	アドラー以後のアドラー心理学カウンセリングの技法上の進化を3段階に分け、それと現代の諸問題を関連づけて話しています。
ターミナルケア	全体（32分12秒）	東京	2006年4月	500円	臨死患者にたいするカウンセリングについて、どう考えればいいのかという話をしています。技術に流れてしまわないで、患者がおかれている状況に共感して、傾聴しながら、ともに旅をしていく必要性を説いています。
カウンセリング講義 2006大阪	全体（37分47秒）	大阪	2006年3月	500円	アドラー心理学のカウンセリングの「グランドデザイン」を、因果性についての認識と関係させながら話をしています。
カウンセリング講義 2006福岡	全体（56分19秒）	福岡	2006年1月	600円	共同体を現在の社会だけではなくて、歴史的な広がりでもとらえ、過去の世界の中で確かめられてきた知恵や、未来の社会に向けての配慮をも含めて共同体感覚を理解します。そのような意味での共同体感覚を教育するのがカウンセリングであるという立場でお話をしています。
勇気づけの夫婦関係	前半（44分09秒） 後半（58分04秒）	大阪	2006年1月	1000円	カウンセラーの立場から夫婦を勇気づけるお話です。よい夫婦関係を築くためには、夫と妻とが自覚して協力的な関係をつくらなければなりません。ニーチェは、個人主義が現代の夫婦の不幸だと言いました。アドラーは、自分の幸福を夫婦関係の中で追い求めることが夫婦の不幸を作ると言いました。結婚生活は感情の力では維持できません。理性の力で夫婦の愛を工夫するのが現代の課題だと思います。夫婦の話は何度かしていますが、このときの切り口は斬新で、楽しんでいただけたと思います。
カウンセリング講義 2005四国	高知（50分24秒） 徳島（38分12秒）	高知/徳島	2005年12月	900円	公開カウンセリングの前の講義です。高知では、アドラーがなぜ共同体感覚という思想を提唱するに至ったか、また共同体感覚を育成するためにカウンセリングで何をを目指すのか、ということを熱く語っています。さらに2本目の徳島では、アドレリアン・カウンセリングの技法の部分、特に相談目標にできることとできないこと、してよいこととしてはいけないことを詳しく説明しています。

カウンセリング講義 2005福井	全体 (57分26秒)	福井	2005年11月	600円	福井市でのカウンセリング講習会の際の講義です。心理臨床についての国家資格の設置が認められないのは、在来のカウンセリングの諸流派が、理論的に非科学的であることと、実践的に効果がないことが原因であることを指摘した上で、アドラー心理学がそれらとは違って科学的理論にもとづいていること、治療効果があることを、わかりやすく説明しています。
カウンセリング講義 2005丹後・但馬	京丹後市 (56分14秒) 養父市 (52分55秒)	丹後/但馬	2005年10月	1100円	京都府京丹後市での講演は、科学的心理学としてのアドラー心理学について述べ、受容と共感を重視する人間学派との違いを、理論的・歴史的に説明しています。兵庫県養父市での講演は、アドラー心理学を、医療モデルではなく教育モデルにもとづくカウンセリングであると位置づけた上で、「尊敬と信頼・理論と知識・技術・貢献」という4つの項目を教育するという話をしています。
カウンセリング講義 2005新潟	全体 (52分56秒)	新潟県加茂市	2005年9月	600円	新潟県加茂市でのカウンセリング講習会の際の講義です。アドラー心理学の基本前提とカウンセリング技法の関係についてとても丁寧にお話をしています。
人間の問題は社会的問題	全体 (50分15秒)	熊野	2005年5月	600円	公開カウンセリングに先立つ講話です。アドラー心理学のカウンセリングが内的問題や歴史の問題ではなくて、対人的問題を取り扱うために、短期間で問題を解決できるようになったことを、わかりやすいたえをあげながら面白く話しています。
善い無意識	全体 (48分36秒)	大分	2005年1月	600円	大分県別府市におけるカウンセリング講習会の際の講義。フロイトは無意識を悪だと考えたが、アドラーは善だと考えた。だから無意識は基本的に信頼できる。間違っているのは意識の方で、地図が間違っているのを、それを現場と照らし合わせて修正するのがカウンセリングだということを、わかりやすく説明しています。
共同体感覚とカウンセリング	全体 (47分30秒)	大阪	2005年3月	600円	公開カウンセリングを行う前の講話です。生い立ちや性格や心の傷を問題にする20世紀前半のカウンセリング、問題解決を主題にする20世紀中頃のカウンセリング、解決志向をかかげる20世紀後半のカウンセリングと比較しながら、「共同体感覚の実験室」としてのアドラー心理学カウンセリングの特徴を説明します。「エピソードを扱うこと」「周りの人への貢献的な行動を学んでもらうこと」など、カウンセラーを目指す方々に向けてたいへん分かりやすくカウンセリングの根本原理をお話しています。
名古屋大学講義	前半 (54分01秒) 後半 (32分19秒)	名古屋	2005年1月	900円	名古屋大学医学部保健学科での講義です。この日の補正項には「看護学などの学生さんを相手に講義をした。アドラー心理学の話をという注文だったのだが、ナマにアドラー心理学の話をしても学生さんはピンと来ないだろうと思って、事例を挙げながらリエゾン精神医学の話をし、その中にアドラー心理学の考え方を潜ませた」と書かれています。ここでは事例の部分をすべて削除してお聞きたいできます。そのため話の流れが少し分かりづらくかもしれませんがご容赦ください。前半は事例順に「居場所」「自己管理」「スモールステップ」について、後半は死についてお話しています。
メタ論理としてのアドラー心理学	全体 (34分58秒)	大阪	2004年11月	500円	アドラー心理学を、患者の物語に対するメタ物語としてとらえるというきわめて斬新な視点についてお話しています。専門家向けです。難解かもしれませんが、聞く価値あり。
カウンセリング講義 2004徳島	全体 (56分59秒)	徳島	2004年11月	600円	徳島での公開カウンセリングに先立っておこなわれました。5つの基本前提、共同体感覚、治療技法について、わかりやすくお話しています。
カウンセリング講義 2004大阪	全体 (39分28秒)	大阪	2004年9月	500円	心理治療の目的を、コモンセンスの育成と共同体感覚の育成に分け、その関係を述べながら、さまざまな技法的な工夫を述べています。
コモンセンス	全体 (52分20秒)	大阪	2004年8月	600円	カウンセラー養成講座での講義です。コモンセンス（共通感覚）について、カント哲学的意味とイギリスの意味、カウンセリングや心理療法との関係、社会適応モデルと個性育成モデルとの関係を述べます。難しい話ですが、アドラー心理学の治療論を知る上で、かならず知っておかなければならない知識だと思います。
カウンセリング講習会 2004浜松	全体 (60分48秒)	浜松	2004年6月	600円	熊野・四日市・名古屋と同じ話をして、最後の日の話です。この後、公開カウンセリングをしています。アドラー心理学の理論、思想、技法と、実際のカウンセリングの関係を、さまざまな実例をあげながら話しています。

心の傷とどうつきあうか	全体（53分53秒）	福井	2004年4月	600円	「心の傷」や「PTSD」をアドラー心理学はどう考えるかについて、わかりやすく話しています。アドラー心理学を学んだことのない専門家の聴衆が多くて、中には「聞いているうちに野田先生を何度殺そうと思ったかわからない」という人もいました。
アドラー心理学カウンセリングの特徴	全体（50分49秒）	大分	2004年2月	600円	大分市におけるカウンセリング講習会の講演部分。来談者中心療法（ロジャース派）、行動療法、精神分析療法（フロイト派）と比較対照しつつ、アドラー心理学的カウンセリングの特徴を語ります。助言していい問題としてはいけない問題、洞察すべき内容としなくてもいい内容、どのような相談目標についてどのように一致をとりつけるかなど、実践的な知識がわかりやすく語られています。
ライフスタイルとは	全体（45分48秒） 添付資料 LifeStyle.pdf	東京	2004年1月	600円	川越アドラーフェラインの主催で東京都内で開催された『ライフスタイル・ワーク』での導入の講義です。ライフスタイルの概念と診断について、とてもわかりやすく語られています。
老人とのつきあい方	前半（45分10秒） 後半（48分59秒）	大阪	2003年5月	1000円	死の問題はスピリチュアル・タスクなので、現在のアドラー心理学では取り扱えません。しかし、死ぬまでの時間はアドラー心理学によって援助できます。老人を取り巻くさまざまな心理学的問題をとりあげて、明快につきあい方の方針を説明します。
自由と責任	前半（47分43秒） 後半（45分14秒）	大阪	2000年9月	900円	自由と責任、あるいは権利と義務、あるいは選択肢と選択できない可能性について、日常生活と結びつけながら、わかりやすくお話しています。
結婚と離婚	前半（55分27秒） 後半（54分28秒）	大阪	2000年3月	1100円	結婚と離婚について、理論的に考えたあとで、具体的にどうすればうまく婚姻生活を続け、あるいはうまく離婚できるかをお話しています。
愛と性の心理学	前半（49分11秒） 後半（47分10秒）	大阪	1999年12月	1000円	過激な題名ですが、中身は穏健です。自衛隊になぞらえながら、性の話が現代のタブーであることを指摘してから、性と愛と結婚を廻る、普段はちょっと話にくいことをあれこれお話しします。
治療者の中立性	全体（64分30秒）	大阪	1999年9月	600円	カウンセリング・セミナーでの専門家向けの話です。「治療者の中立性」というやや難解な話題を、できるだけわかりやすくお話しています。
感情のメカニズム	前半（49分06秒） 後半（45分05秒）	大阪	1999年7月	1000円	感情についてのアドラー心理学の考え方を説明します。すなわち、目的論的・全体論的にみれば、感情というのはどういうものかということについて考えます。「人間精神は、思考も感情もすべて、虫の小便だ」という、とんでもない「暴論」にもとづいて、感情のメカニズムについてお話しています。
夫婦再建	前半（54分15秒） 後半（55分19秒）	大阪	1998年4月	1100円	現代の夫婦をめぐる情勢、その中でなぜ夫婦関係が不安定になってきたか、夫婦はどのようにして破綻していくか、破綻しかかっている夫婦をどのようにして再建するか、などのお話を、わかりやすく、しかも専門的なノウハウも交えて、お話しています。
老人と暮らす	前半（55分14秒） 後半（54分31秒）	大阪	1996年12月	1100円	老人問題を現代文化の中でとらえて、さまざまな側面からお話しします。後半は認知症の話などをしています。
心の傷なんかない	前半（61分58秒） 後半（46分03秒）	大阪	1996年10月	1000円	神戸の震災や堺市のO-157事件にちなんで、「心の傷」という誤った考え方を批判し、アドラー心理学的にはどう考えるべきかをお話しています。
職業について	前半（56分57秒） 後半（44分44秒）	大阪	1995年9月	1000円	仕事のタスクについて話をした上で、職業選択について、さまざまな話をしています。
私の死を死ぬ	前半（47分16秒） 後半（49分38秒）	大阪	1994年11月	1000円	医学が進みすぎて、死が非人間的に取り扱われている現状を指摘し、個人が自分の死に方を決断し、自分らしい個性的な死を死ぬことについて話します。
男の性・女の性	前半（60分33秒） 後半（32分21秒）	大阪	1993年6月	900円	性をめぐる心理学について、歴史的な回顧、性的問題を解決する方法、これからの展望などを語っています。ふだんは聞けない珍しい話も多く含まれています。
生きがいについて	前半（61分15秒） 後半（37分52秒）	大阪	1993年2月	1000円	「生きがい」ということをめぐって、アドラーをはじめ、 فرانクルや E.H.エリクソンの学説を参照しながら、さまざまな話をしています。
感情のコントロール	前半（45分45秒） 後半（49分25秒）	大阪	1992年4月	1000円	感情のコントロールといっても、感情をなくそうということではありません。感情を制御して、感情を建設的に使うというお話です。気分と感情の違い、ライフスタイル類型やその診断、神経症の治療、早期回想や夢などを使ったカウンセリングの方法など、意外な方向に話が広がっています。